施工・取扱説明書

工事店さまへのお願い

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOTO

固定シャワー(脈動エアインオーバーヘッドシャワー)

TBXS18A型
TBXS18B型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。この施工・取扱説明書は大切に保管しておいてください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁止

シャワーには熱湯(60℃より高温)を通さない

シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。シャワーを浴びる場合は、安全のため、45℃以下の適温でご使用ください。

分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめる

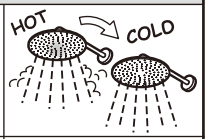
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。また、使い始めに、配管内にたまった冷たい水が出ることがあります。

⚠ 警　告

必ず実行

高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流す

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



定期的(年2回以上)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認する

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注　意

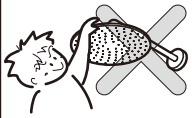
禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

ぶら下がったり、引っ張ったり、回したりしない

外れてけがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



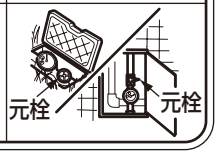
必ず実行

取り付け完了後、固定シャワーにガタツキがないことを確認する

固定シャワーにガタツキがあると、固定シャワーが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉める

水漏れなど予想しない事故の原因になります。



2 仕様

給水・給湯圧力（水栓本体側）	最低必要水圧	0.15MPa（流動時）
	最高水圧	0.75MPa（静止時）
使用最高温度		60℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用　　途		パブリックおよび一般住宅浴室用

豆知識

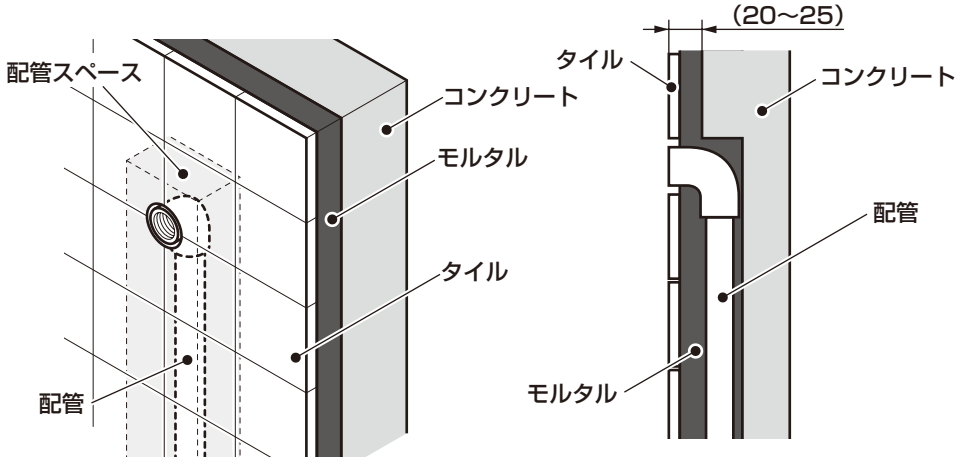
「脈動エアインオーバーヘッドシャワー」は、吸気口から取り入れた空気を水に混入し、吐水に周期的に強弱をもたせたシャワーです。

3-1 取り付け前に

●壁面は、固定シャワーの荷重（約5kg）に十分に耐えうる強度を確保してください。

●この固定シャワーの標準の施工壁面は以下のとおりです。

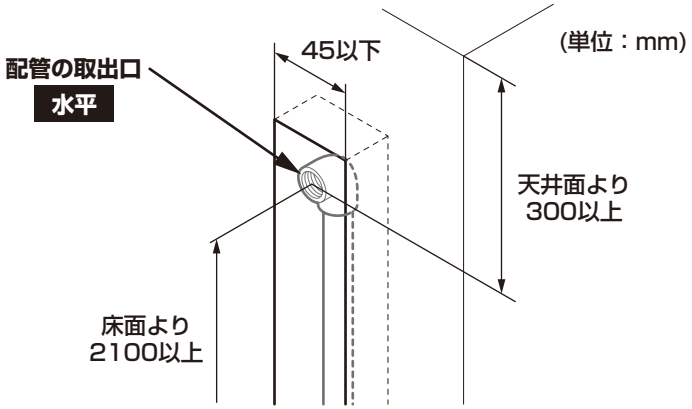
(単位：mm)



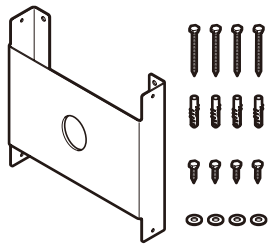
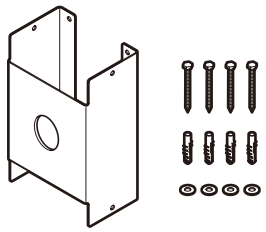
3-2

●配管の取出口は、あらかじめ水平に設置してください。
水平に設置されていない場合、正しく施工されないことがあります。

●下記寸法で、水栓器具の設置場所を確保してください。



●標準の施工壁面以外の壁面に施工される場合は、下表を参照のうえ、専用の固定シャワー取付金具とドリルねじセットを別途手配してください。

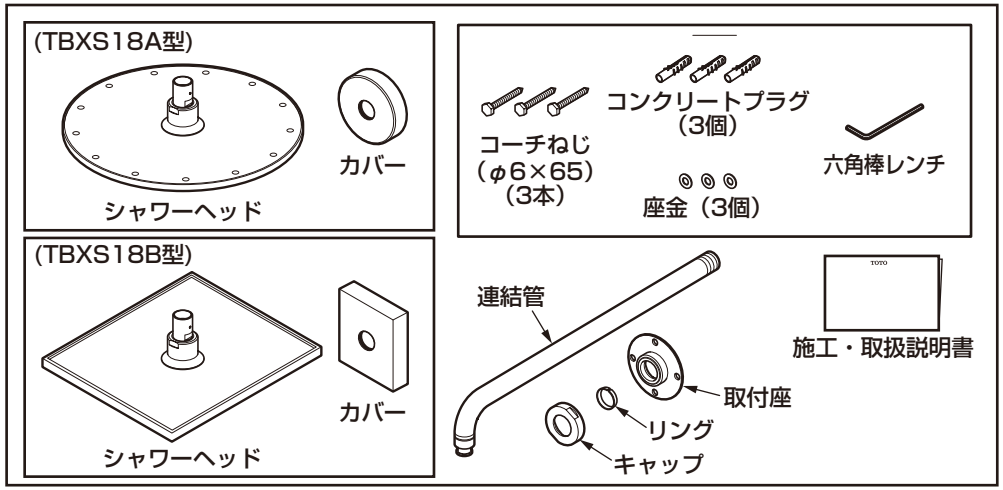
固定シャワー取付金具		ドリルねじセット（THK21型）
軽量鉄骨下地用（THK20A型）	コンクリートブロック用（THK20B型）	
		ドリルねじ（φ6×60）（3本）　座金（3個） ※本製品は座金は使用しません。

●誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

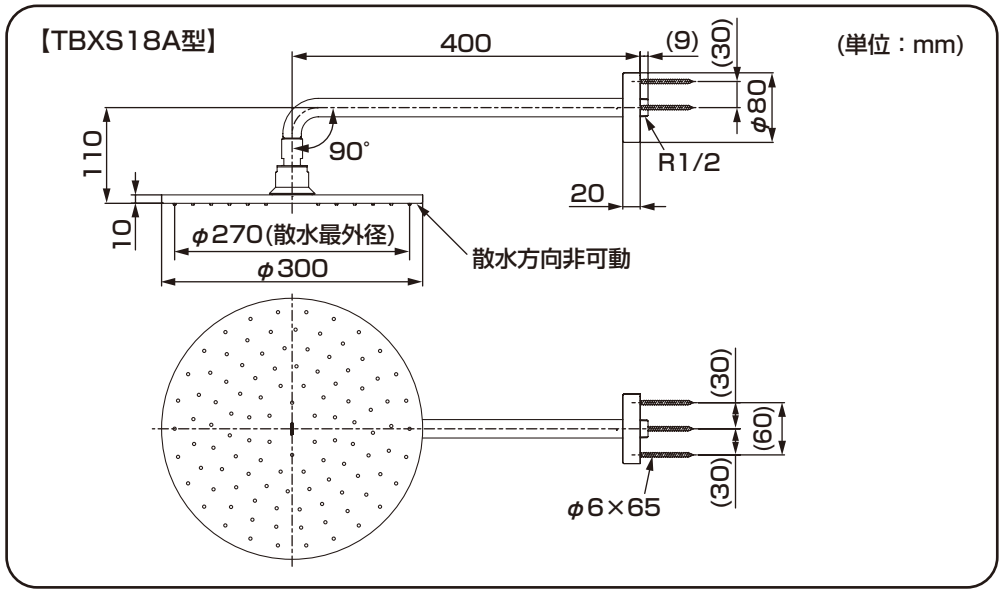
●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

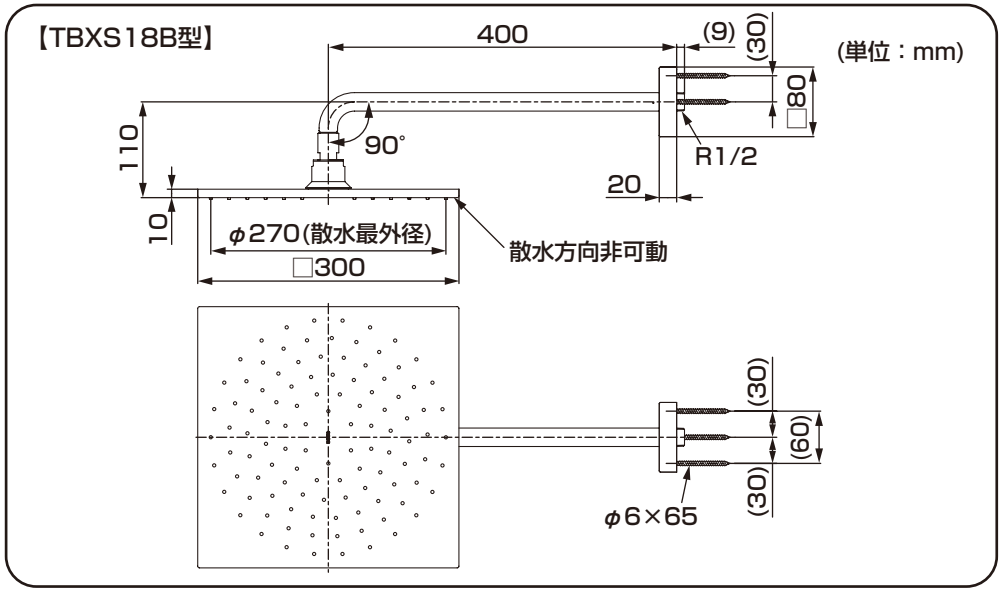
次の部品があることを確認してください。



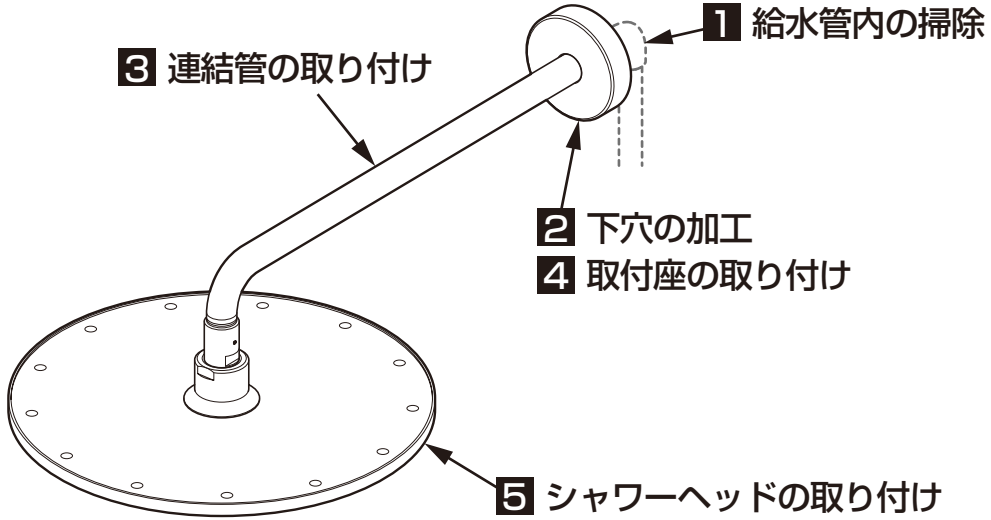
5-1 完成図



5-2



6-1 施工手順



1 給水管内の掃除

重要

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

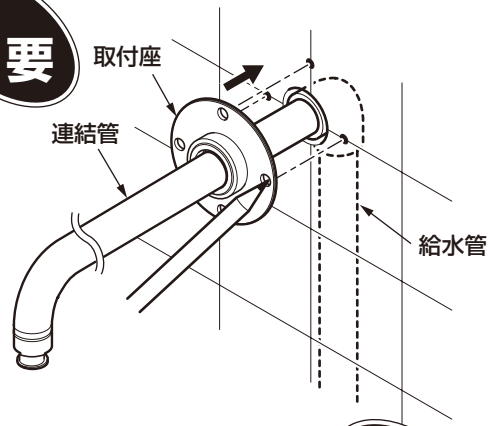
2 下穴の加工

重要

① **連結管にキャップとリングを外した取付座を通し、**連結管を給水管に仮固定する。

②取付座を壁にあてがい、ねじ固定の位置（3カ所）をマーキングする。

③連結管を一旦取り外し、ポンチで穴あけ位置を決める。



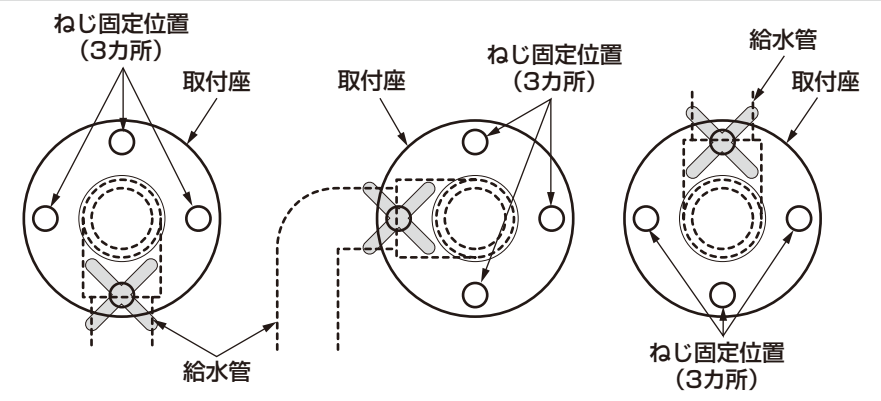
注　意

連結管に傷がつかないよう注意してください。

注　意

重要

取付座のねじ固定位置は3カ所です。
事前に壁裏センサーなどで配管の位置を確認してください。
配管の位置を確認せずに下穴をあけた場合、配管の損傷などにより水漏れや設備破損の原因となります。



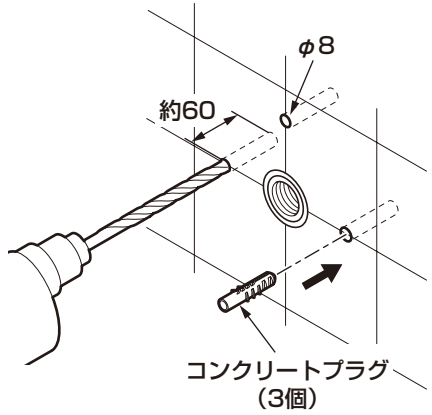
④下穴をあける。

標準の壁面施工の場合

1.下穴をφ8mmのドリルで、約60mmの深さであける。

2.下穴を掃除する。

3.コンクリートプラグ（3個）を壁面に打ち込む。



注　意

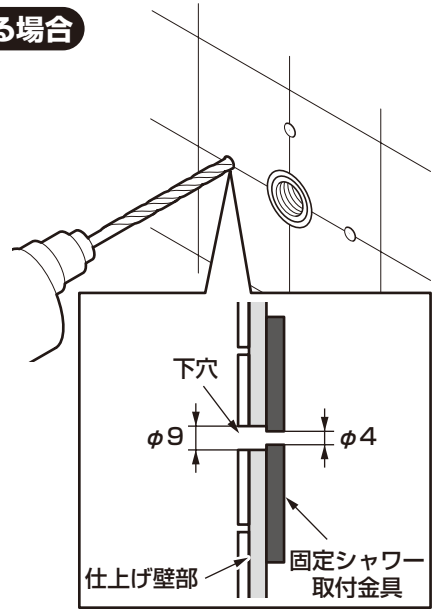
タイルの破損防止のため、振動ドリルやハンマードリルは使わずに、「回転」のみで穴をあけてください。

固定シャワー取付金具を使用している場合

1.φ4mmのドリルで下穴を固定シャワー取付金具まで貫通させる。

2.仕上げ壁面の穴をφ9mm程度で逃す。

3.下穴を掃除する。



裏面へつづく

3 連結管の取り付け

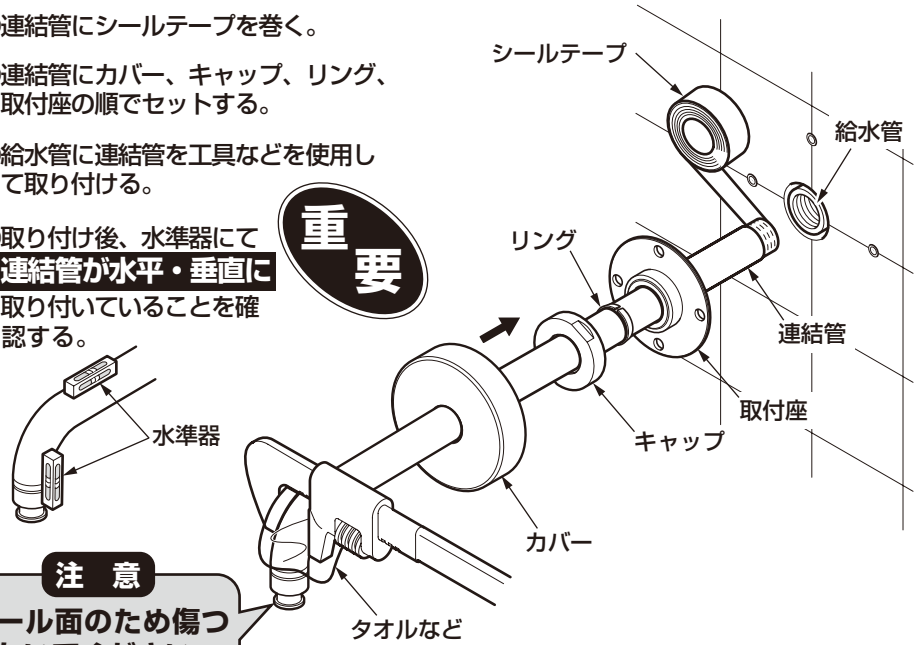
①連結管にシールテープを巻く。

②連結管にカバー、キャップ、リング、取付座の順でセットする。

③給水管に連結管を工具などを使用して取り付ける。

④取り付け後、水準器にて**連結管が水平・垂直に**取り付いていることを確認する。

重要



注　意

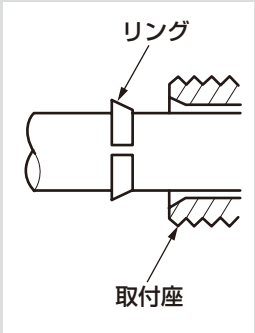
シール面のため傷つけないでください。

注　意

●**必ず連結管にシールテープを巻いてください。**
シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。

●**必ずカバー、キャップ、リング、取付座の順でセットした状態で取り付けてください。**
また、リングの向きに注意してください。

●**ゆるみがないようにしっかり締めてください。**
しっかり締め付けられていないと水が漏れたり、外れることがあります。
また、締め付ける際は、傷がつかないようにタオルなどで保護してください。



●**必ず水準器にて水平・垂直であることを確認してください。**
水平・垂直に取り付いていない場合、シャワーヘッド内部の残留水が排出され、シャワーの水を止めたあと、シャワーから水が垂れることがあります。

4-1 取付座の取り付け

①取付座を固定する。

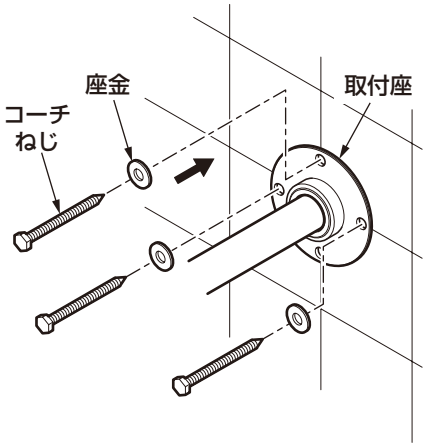
注　意

ねじをねじ込む前に、下穴の周囲にシリコン剤を必ず塗布してください。

標準の壁面施工の場合

1.下穴の周囲にシリコン剤を塗布する。

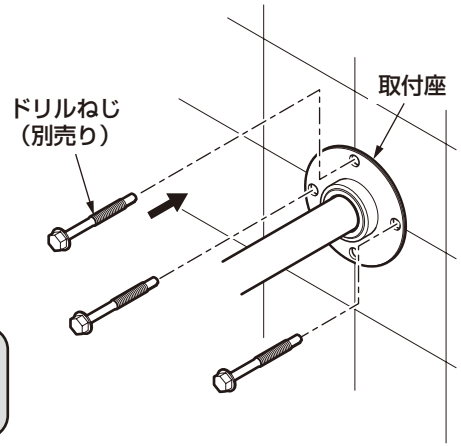
2.同梱のコーチねじ（3本）に座金を取り付け、取付座をコンクリートプラグにねじ込む。



固定シャワー取付金具を使用している場合

1.下穴の周囲にシリコン剤を塗布する。

2.ドリルねじセット(別売り)を使用して、取付座を固定シャワー取付金具に直接ねじ込む。
(付属の座金は使用しない)



注　意

同梱のコーチねじは使用しないでください。

4-2

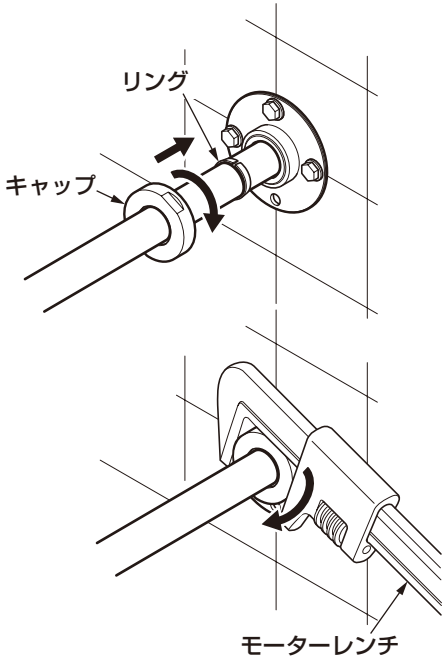
②リングを取付座に差し込む。

③キャップを被せ、モーターレンチで取付座に締め込む。

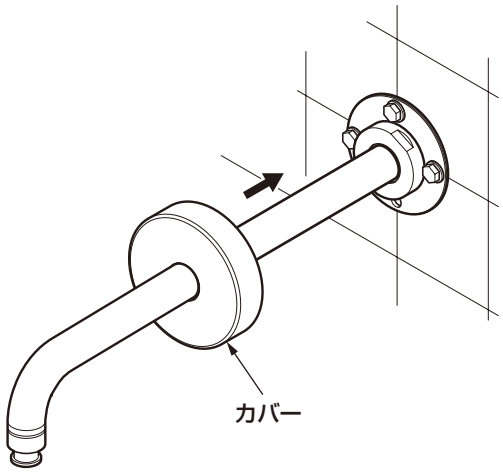
注　意

リングが組み込まれていることを確認してください。また、キャップは十分に締め付けてください。

リングが組み込まれていなかったり、キャップが十分に締め込まれてないと、外れてけがをしたり、水漏れの原因となります。



④カバーを取付座に取り付ける。

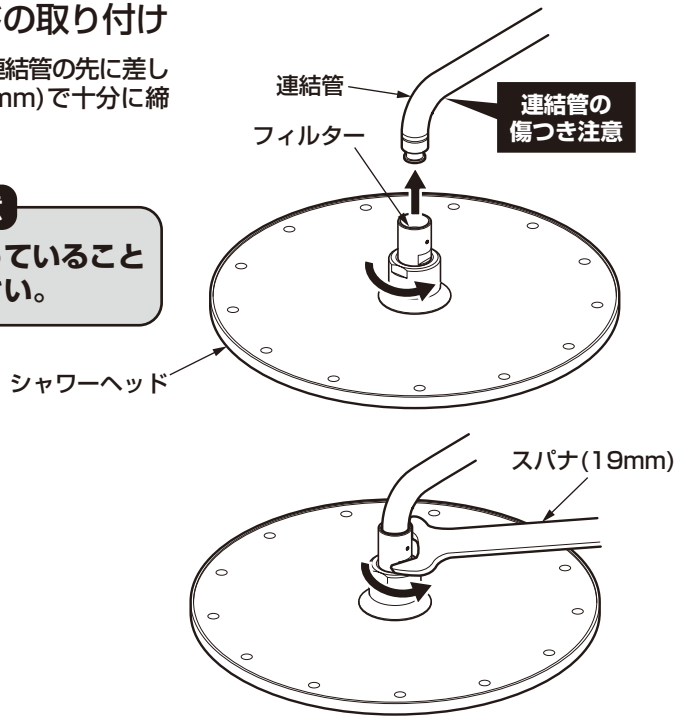


5 シャワーヘッドの取り付け

①シャワーヘッドを連結管の先に差し込み、スパナ(19mm)で十分に締め込む。

注　意

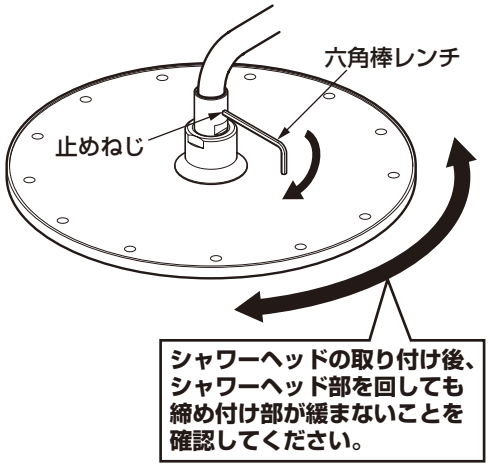
フィルターが入っていることを確認してください。



②止めねじ部のシールをはがし、止めねじを付属の六角棒レンチで締め付ける。

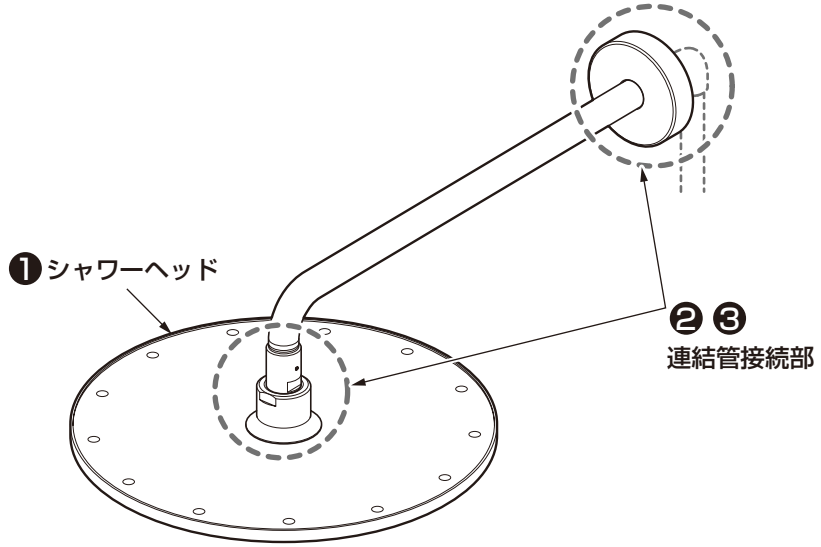
注　意

止めねじは落下防止用の部材です。
確実に締め付けてください。



7 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❷ 連結管接続部のガタツキはないですか？

6-3 − 3
「連結管の取り付け」参照

6-4 − 5
「シャワーヘッドの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

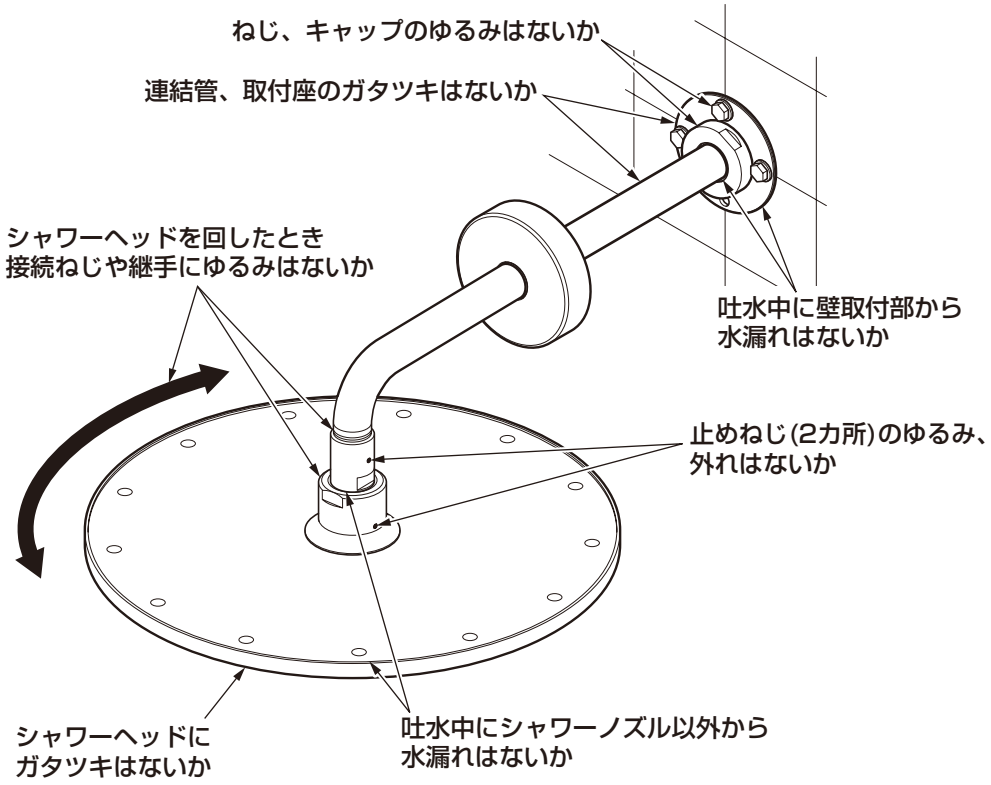
❸ 連結管接続部の水漏れはないですか？

6-3 − 3
「連結管の取り付け」参照

6-4 − 5
「シャワーヘッドの取り付け」参照

8 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的(年2回以上)に、以下の点検をお願いします。



警　告

上記の点検を怠ると、水漏れして家財などをぬらす財産損害が発生したり、部品が破損しシャワーヘッドが落下してけがをするなど、重大事故のおそれがあります。
異常がある場合はお求めの取付店・販売店または TOTO メンテナンス (株) へ修理をご依頼ください。

9-1 日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

布などを使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

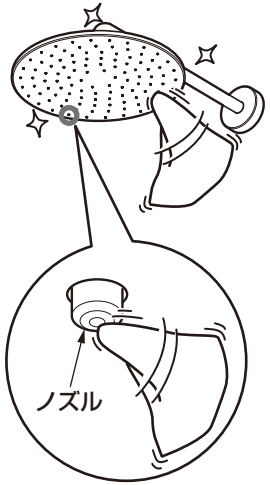
水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

適量に薄めた浴室用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。

●流線が乱れる場合

ノズルが詰まると流線が乱れる場合があります。水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってノズルの汚れを軽くふき取ってください。
強い力でふいたり、こすった場合、ノズルが破損したり、変形してさらに流線が乱れるおそれがありますのでご注意ください。



TOTO蛇口まわりのクリーナーでのお手入れ

水栓に傷をつけずに、水あかなどの汚れを効果的に除去できる「TOTO蛇口まわりのクリーナー」のご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

商品のお問い合わせは・・・
TOTO(株) お客様相談室へ
TEL 0120−03−1010
FAX 0120−09−1010

修理のご用命は・・・
TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターへ
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02

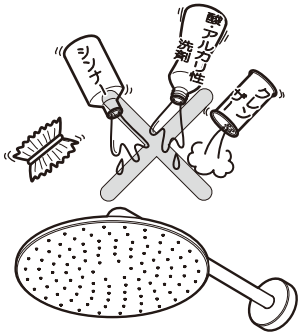
交換部品・別売品のご購入は・・・
TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ
TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99

9-2

お願い

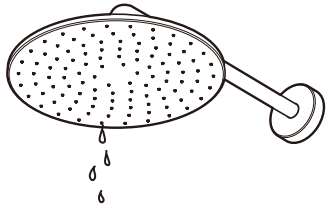
水栓が破損するおそれがあるものは使用しないでください。

- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、TOTO蛇口まわりのクリーナー以外のアルカリ性洗剤
  水栓の表面が変色したり、樹脂部品が破損するおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
  ゴムや樹脂部品が破損するおそれがあります。
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど
  水栓の表面が傷つきます。



10 使用上の注意

- シャワーの水を止めたあと、シャワーからしばらく水が垂れることがあります。
  これはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
- 空気を混入するためシャワーヘッド内部で吸気音が発生しますが故障ではありません。



※この施工・取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。